

世界のデング熱流行状況(更新 29)

2010年8月30日 ProMED 情報

(1)アメリカ領バージン諸島[virgin Islands Daily News]

8月20日にセント・ジョン St.John 地区の女性がデング熱疑いでマイアミの病院で死亡しました。同諸島では、今年これまで確定診断患者8名、強い疑いで検査中の患者3名、疑い患者15名が発生したとのことです。2名の疑い患者を除いてセント・トーマス St.Thomas 及びセント・ジョン地区からの患者でした。

(2)マルティニーク Martinique 島とグアドループ Guadeloupe 島[Xinhua News Agency 新華社]

マルティニーク島では、患者約26,000名と死亡患者13名が報告されました。グアドループ島では、患者約33,000名と死亡患者5名が報告されました。

(3)メキシコ(ナヤリット Nayarit 州)[La Jornada]

Santiago Ixcuintla 市では、死亡患者2名(いずれもデング出血熱患者)、デング熱患者37名、デング出血熱患者39名が報告されました。

(4)ホンジュラス[Tiempo、Agence France-Presse (AFP)report]

8月24日に、ホンジュラスでの最新統計によると、死亡患者57名、デング出血熱患者5,557名、デング熱患者50,028名が報告されました。

(5)コロンビア(マグダレナ Magdalena 県)[El Informador]

マグダレナ県サンタ・マルタ Santa Marta 市では、デング熱の発生が続いていることから、市民は警戒状態にあります。公式には患者の増加を示す数字はありませんが、保健センターが状況の悪化を確認しています。

(6)ベネズエラ[El Universal]

7月30日、保健省によると、患者68,753名と死亡患者30名が報告されました。デング出血熱患者は6,418名で昨年より24.6%の増加です。

(7)ペルー(ピウラ Piura 県)[Correo]

ピウラ県の保健担当責任者(DIRESA)は、疫学週報30週(7月25~31日)に、患者8,166名を報告しました。発生率の高い地域は、人口100,000名あたり Salitral(260名)、Castilla(170名)、Morropon(143名)、Bellavista(129名)、ピウラ(116名)です。

(8)ブラジル(ロライマ Roraima 州)[Secretaria de Vigilancia em Saude, Departamento de Vigilancia Epidemiologica]

ロライマ州保健当局によれば、首都ボア・ビスタ Boa Visuta でデングウイルス4型の患者3名が確認され、疑い患者9名は引き続き検査中とのことです。(8名はボア・ビスタからで、1名はCanta自治体からでした。)